

9月 25日(金)

第1会場 1Fホール

9:00~ 9:10

開会式

9:10~ 10:00

一般演題 1 基礎①

座長: 鈴木 勝也(国立病院機構東京医療センター リウマチ膠原病内科)

O1-1 シェーグレン病(SjD)における抗 Ro52抗体の病態的役割と臨床的意義

杉浦 碧海(筑波大学医学医療系 膠原病リウマチアレルギー内科学)

O1-2 シェーグレン病における抗 MIS12複合体抗体検出のための wet-protein arrayの開発

木下 大生(プロテオブリッジ株式会社)

O1-3 BAFFシグナル阻害低分子化合物の in vitro/in vivoでの B細胞分化抑制作用の検証

吉本 桂子(慶應義塾大学医学部 リウマチ・膠原病内科)

O1-4 シェーグレン病モデルマウスの骨髄および末梢における B細胞分化動態の解析

木下 佑理(東京科学大学大学院 医歯学総合研究科 咬合機能矯正学分野)

O1-5 シェーグレン病モデルにおける抑うつ様行動の神経免疫学的解析

石井 麻未(東京科学大学大学院 医歯学総合研究科 口腔病理学分野)

10:20~ 11:20

スイーツセミナー

座長: 松本 功(筑波大学医学医療系 膠原病リウマチアレルギー内科学)

SS 呼吸器内科医から見た膠原病関連間質性肺疾患における最新の治療戦略

早稲田 優子(福井大学医学系部門 呼吸器内科学分野)

共催: 日本ベーリンガーインゲルハイム株式会社

11:40~ 12:40

ランチョンセミナー 1

座長: 正木 康史(金沢医科大学 血液免疫内科学)

LS1 IgG4関連疾患の病態と最新治療戦略

中山田 真吾(産業医科大学医学部 第1内科学講座)

共催: 田辺ファーマ株式会社

12:50~ 13:10

総会

13:10~ 13:20

奨励賞・功労賞 表彰

13:20~ 13:50

学会賞受賞講演

座長: 中村 英樹(日本大学医学部内科学系 血液膠原病内科学分野)

14:00～15:10

特別講演

座長：正木 康史(金沢医科大学 血液免疫内科学)

SP-1 シェーグレン病における神経障害と無汗症

朝比奈 正人(金沢医科大学 脳神経内科学)

座長：川野 充弘(金沢医科大学 血液免疫内科学)

SP-2 抗 SS-A抗体の発見から現在地、そしてシェーグレン病の新規自己抗体へ

室 慶直(藤田医科大学 皮膚科)

15:20～17:00

シンポジウム 1

シェーグレン病と IgG4関連疾患：診断と治療のピットフォール

座長：下山 久美子(浜松医科大学 免疫リウマチ内科)

富板 美奈子(千葉県こども病院 アレルギー・膠原病科)

SY1-1 シェーグレン病の口腔

福井 功政(歯科クリニック福井)

SY1-2 シェーグレン病における新規治療薬アップデート 2026

中村 英樹(日本大学医学部内科学系 血液膠原病内科学分野)

SY1-3 IgG4関連疾患治療の最前線：治療薬を含めて

中山田 真吾(産業医科大学医学部 第1内科学講座)

SY1-4 シェーグレン病患者に対する今後の新しいドライアイ治療—涙液層の安定化と症状制御—

堀 裕一(東邦大学医学部 眼科学講座)

SY1-5 歯科医師はシェーグレン症候群診療にどのように関わるべきか —口腔症状評価と小唾液腺生検の役割—

中野 旬之(金沢医科大学 顎口腔外科学講座)

17:10～18:10

イブニングセミナー

座長：山田 和徳(金沢医科大学 医学教育学)

ES シェーグレン病 (SjD) 合併関節リウマチ (RA) の病態と臨床的特徴を踏まえた ベストプラクティス

坪井 洋人(筑波大学医学医療系 膠原病リウマチアレルギー内科学)

共催：中外製薬株式会社

プログラム

特別講演

シンポジウム

ジョイントセッション

ハンズオンセミナー

共催セミナー

一般演題

市民公開講座

第2会場 2F 大会議室

9:10～10:10

一般演題2 症例

座長: 小橋川 剛(昭和医科大学江東豊洲病院 リウマチ膠原病内科)

O2-1 多彩な眼合併症を呈したシェーグレン病の1例

田幡 悠樹(東京女子医科大学 眼科)

O2-2 抗SSA抗体陽性を契機に新規 *TNFRSF13B* 変異による分類不能型免疫不全症の診断に至った難治性脱毛症の1例

雨池 秀憲(札幌医科大学医学部 内科学講座 免疫・リウマチ内科学分野)

O2-3 シェーグレン病を伴う抗SRP抗体陽性免疫介在性壊死性ミオパチーの小児2例

佐藤 義剛(千葉県こども病院 アレルギー・膠原病科)

O2-4 *NCF1* p.Arg90Hisバリエントを認めた小児期シェーグレン病姉弟例

大西 卓磨(国立病院機構埼玉病院 小児科/慶應義塾大学医学部 小児科学教室)

O2-5 MALTリンパ腫を合併したSLE分類基準を満たす Sjogren病の1例(第2報)

小橋川 剛(昭和医科大学江東豊洲病院 リウマチ膠原病内科)

O2-6 グルココルチコイドとトシリズマブに抵抗性で致死的転帰を来したシェーグレン病合併TAFRO症候群の一例

齋藤 太郎(東京都立病院機構がん・感染症センター都立駒込病院 膠原病科/
東京大学医学部附属病院 アレルギー・リウマチ内科)

11:40～12:40

ランチョンセミナー2

シェーグレン病の病態機序の深層理解と臨床課題の明確化

座長: 西山 進(倉敷成人病センター リウマチ科)

LS2-1 シェーグレン病の病態におけるB細胞の役割

新納 宏昭(九州大学大学院医学研究院 医学教育学講座)

座長: 中村 英樹(日本大学医学部内科学系 血液膠原病内科学分野)

LS2-2 Beyond Dryness —全身性疾患としてシェーグレン病を診るための臨床課題

東 直人(兵庫医科大学医学部 糖尿病内分泌・免疫内科)

共催: ノバルティス ファーマ株式会社メディカル・アフェアーズ本部

15:20～16:20

一般演題 3 臨床①

座長：水島 伊知郎(金沢大学附属病院 総合診療共創センター)

O3-1 シェーグレン病疑い症例における各検査所見の診断能と診断基準間の比較

山田 英恵(金沢医科大学 顎口腔外科学講座)

O3-2 シェーグレン病におけるリウマトイド因子の臨床的意義

秋谷 久美子(日本大学医学部内科学系 血液膠原病内科分野)

O3-3 抗 SSA/Ro抗体陽性者における腎障害進展予測に対する尿中 β 2-ミクログロブリン測定の意義

堀野 太郎(高知大学医学部 内分泌代謝・腎臓内科)

O3-4 本邦の保険請求データを用いたシェーグレン病の日常診療における併存疾患と薬剤処方の実態調査

坪井 洋人(筑波大学医学医療系 膠原病リウマチアレルギー内科学)

O3-5 バングラデシュにおけるシェーグレン病診療の現状 —医療施設訪問を通じた日本との比較—

中村 浩之(北海道大学大学院医学院・医学研究院 免疫・代謝内科学教室)

O3-6 B cell/ I 型 IFN signatureの観点からみたシェーグレン病臓器病変に対するリツキシマブ治療：無菌性髄膜炎および強膜炎の2例

田中 惟斗(茨城西南医療センター病院 リウマチ・膠原病内科)

ハンズオンセミナー 会場 2F 研修室 1AB

15:00～17:00

唾液腺エコーハンズオンセミナー

～自己抗体検査を参考に、唾液腺エコーでシェーグレン病の所見を確認しよう～

講師兼トレーナー：大島 美穂(日本大学医学部内科学系 血液膠原病内科学分野)

トレーナー：佐藤 幸(のぐち内科クリニック)

アドバイザー：高木 幸則(長崎大学大学院 医歯薬学総合研究科 口腔診断・情報科学分野)

共催：キヤノンメディカルシステムズ株式会社

株式会社伏見製薬所

プロテオブリッジ株式会社

9月 26日(土)

第1会場 1Fホール

8:50～9:40

一般演題 4 基礎②

座長：森山 雅文(九州大学大学院歯学研究院 口腔顎顔面病態学講座 口腔顎顔面外科学分野)

O4-1 シェーグレン病唾液腺における疾患活動性関連間質リモデリングと
Vimentin⁺CDH11⁺間質細胞

千藤 莊(神戸大学医学部附属病院 膠原病リウマチ内科／検査部)

O4-2 シェーグレン病疑い症例における小唾液腺 PRDX4発現と focus scoreとの関連

友田 敦子(金沢医科大学 顎口腔外科学講座)

O4-3 シェーグレン病様マウスにおけるモンゴル伝統的乳製品由来乳酸菌の継続摂取が
外分泌機能に及ぼす影響

小川 健二郎(宮崎大学農学部 応用生物科学科／農学工学総合研究科)

O4-4 シェーグレン病様マウスに対するシダレ桜由来乳酸菌投与による涙液分泌機能改善作用

床櫻 純夏(宮崎大学大学院農学研究科 農学専攻)

O4-5 IgG4関連疾患の再燃における末梢血 Non-classical Monocyteの関与—FLOW study—

藤田 悠哉(産業医科大学医学部 第1内科学講座)

9:50～11:50

シンポジウム 2

シェーグレン病とリンパ増殖性疾患

座長：石丸 直澄(東京科学大学大学院医歯学総合研究科 口腔病理学分野)

神田 真聡(札幌医科大学医学部内科学講座 免疫・リウマチ内科学分野)

SY2-1 関節リウマチにおける MTX・分子標的治療薬とリンパ増殖性疾患

針谷 正祥(国際医療福祉大学医学部 リウマチ・膠原病内科／山王メディカルセンター)

SY2-2 Mimickers of IPL-subtype idiopathic multicentric Castleman disease

佐藤 康晴(岡山大学学術研究院保健学域 分子血液病理学)

SY2-3 Epstein-Barrウイルスとリンパ増殖性疾患

佐藤 好隆(名古屋大学大学院医学系研究科 ウイルス学)

SY2-4 シェーグレン病とリンパ腫の合併をどう考えるか

正木 康史(金沢医科大学 血液免疫内科学)

12:00～13:00

ランチョンセミナー 3

座長：吉藤 元(日本医科大学武蔵小杉病院 リウマチ・膠原病内科)

LS3 RAから GCAへ: JAK阻害薬が切り拓く治療パラダイム

針谷 正祥(山王メディカルセンター / 国際医療福祉大学医学部 リウマチ・膠原病内科学)

共催：アッヴィ合同会社

13:10～14:10

日本シェーグレン病学会／日本 IgG4関連疾患学会 ジョイントセッション 症例検討会

座長：吉藤 元(日本医科大学武蔵小杉病院 リウマチ・膠原病内科)

JS-1 腎に特異的な画像所見を認めた IgG4-RDが疑われる症例

上田 祐輔(金沢医科大学 血液免疫内科学)

コメンテーター：井上 大(恵寿総合病院 放射線科)

黒瀬 望(金沢医療センター 臨床検査科・病理診断科)

水島 伊知郎(金沢大学附属病院 総合診療共創センター)

JS-2 緩徐増大する腎盂病変を認め、腫瘍性疾患との鑑別に苦慮した 冠動脈周囲炎合併 IgG4関連疾患の 1 例

館 佳樹(三重大学医学部附属病院 リウマチ・膠原病センター)

コメンテーター：井上 大(恵寿総合病院 放射線科)

佐藤 康晴(岡山大学学術研究院保健学域 分子血液病理学)

川野 充弘(金沢医科大学 血液免疫内科学)

笠島 里美(金沢大学医薬保健研究域保健学系 病態検査学)

14:20～15:20

クイズ王決定戦

司会：鈴木 康倫(福井赤十字病院 リウマチ・膠原病内科/腎臓内科)

山田 和徳(金沢医科大学 医学教育学)

15:20～

閉会式・クイズ王決定戦表彰式

プログラム

特別講演

シンポジウム

ジョイントセッション

ハンズオンセミナー

共催セミナー

一般演題

市民公開講座

第2会場 2F 大会議室

8:50～9:40

一般演題 5 IgG4関連疾患

座長：高橋 裕樹(札幌同交会病院)

- O5-1 QFT陽性を伴い結核性大動脈炎や悪性腫瘍との鑑別を要した急速進行性 IgG4関連大動脈周囲炎の一例
広済 智也(大阪公立大学医学部附属病院 膠原病・リウマチ内科)
- O5-2 IgG4関連疾患および特発性多中心性 Castleman病との鑑別を要した Rosai-Dorfman diseaseの1例
沖本 結(岡山大学大学院保健学研究科 分子血液病理学)
- O5-3 デュピルマブを投与した IgG4関連疾患の13例
神田 真聡(札幌医科大学医学部 内科学講座 免疫・リウマチ内科学分野)
- O5-4 IgG4関連疾患におけるイネビリズマブの安全性・有効性(涙腺・眼窩病変)(アンコール発表)
高橋 裕樹(札幌同交会病院)
- O5-5 IgG4関連疾患における濾胞外 Tph2-CD11c陽性 B細胞軸の病態学的意義
亀倉 隆太(札幌医科大学医学部 耳鼻咽喉科・頭頸部外科学講座)

9:50～10:40

一般演題 6 臨床②

座長：三枝 淳(神戸大学医学部附属病院 膠原病リウマチ内科)

- O6-1 シェーグレン病と他の自己免疫疾患との家族集積性および遺伝的重複の解析
皆木 瞳(岡山大学 歯学部先端領域研究センター)
- O6-2 シェーグレン病合併悪性リンパ腫 22例の病理組織型に関する後方視的検討
山之内 弥矢(金沢医科大学 血液免疫内科学)
- O6-3 シェーグレン病の診断プロセスは均質か？—担当医別検査施行率の検討—
下山 久美子(浜松医科大学 免疫リウマチ内科)
- O6-4 シェーグレン病における患者報告アウトカムと精神健康状態との関連についての横断的検討
大久保 悠介(浜松医科大学医学部附属病院 免疫リウマチ内科)
- O6-5 シェーグレン病のために死にたいと思った患者の疾病負担
小森 香(高知大学医学部 環境医学教室)

10:50～11:40

一般演題 7 臨床③

座長: 吉本 桂子(慶應義塾大学医学部 リウマチ・膠原病内科)

- O7-1 原発性シェーグレン病における唾液腺超音波検査を用いたドプラの経時的評価と臨床的意義**
大島 美穂(日本大学医学部内科学系 血液膠原病内科学分野／三井記念病院
膠原病・リウマチ内科)
- O7-2 シェーグレン病患者における唾液腺脂肪率と臨床所見との関連: MRIによる検討**
川上 真輝(長崎大学大学院医歯薬学総合研究科 口腔診断・情報科学分野)
- O7-3 小児期シェーグレン病の新規国際分類基準策定に向けた国際共同研究への参画と本邦の貢献**
井上 祐三朗(千葉大学大学院医学研究院 総合医科学／東千葉メディカルセンター
小児科／千葉県こども病院 アレルギー・膠原病科)
- O7-4 乾燥自覚症状に基づいたシェーグレン病患者の分類と臨床像**
西山 進(倉敷成人病センター リウマチ膠原病センター)
- O7-5 シェーグレン病患者における MA-T含有口腔ケア製品の使用実態と有用性の検討**
皆川 侑子(兵庫医科大学 アレルギー・リウマチ内科)

12:00～13:00

ランチョンセミナー 4

シェーグレン病を再考するー IgG4関連疾患との比較から迫る
「腺炎」の本質ー

座長: 川野 充弘(金沢医科大学 血液免疫内科学)

LS4-1 SjDとIgG4関連疾患: 唾液腺病変はどこが同じで、どこが違うのか?

森山 雅文(九州大学大学院歯学研究院 口腔顎顔面病態学講座 口腔顎顔面外科学分野)

LS4-2 全身性疾患としての SjD: IgG4関連疾患との比較で捉える多臓器病変の特徴

古賀 智裕(長崎大学大学院医歯薬学総合研究科 先進予防医学共同専攻
リウマチ・膠原病内科学分野)

共催: ブリストル・マイヤーズ スクイブ株式会社メディカル部門

13:10～15:10

第2回金沢医科大学病院リウマチセンター市民公開講座 ～テーマ: シェーグレン病～

座長: 武井 正美(公立阿伎留医療センター／日本大学医学部 血液膠原病内科)

シェーグレン病について

西山 進(倉敷成人病センター リウマチ膠原病センター)

シェーグレン病とドライアイー世界をリードする日本の診療最前線ー

横井 則彦(京都府立医科大学)

知っていますか? 正しい口内炎ケアと MRONJ(薬剤関連顎骨壊死) 予防

関谷 秀樹(東邦大学医学部 口腔外科学教室)

2つの白書から見てきたものー日本シェーグレン白書 2020と 2025ー

小森 香(高知大学医学部 環境医学教室／日本シェーグレン病患者の会)

プログラム

特別講演

シンポジウム

ジョイントセッション

ハンズオンセミナー

共催セミナー

一般演題

市民公開講座